

1	審議会名	武石地域協議会
2	日時	平成24年7月18日 午後7時00分から午後9時05分まで
3	会場	武石地域自治センター 第1会議室
4	出席者	新井敦子委員、飯田秀範委員、上野正司委員、大沢春樹委員、金子隆博委員、 北沢賢二委員、清住洋子委員、児島八重子委員、塩之入安男委員、滝沢修司委員、 滝澤由美子委員、中嶋三津子委員、成田英雄委員、樋沢一幸委員、樋沢みどり委員、 森美由樹委員、柳沢裕子委員 【欠席委員】3名
5	市側出席者	伊藤地域自治センター長、木藤地域振興課長、牛山市民生活課長、 児玉産業観光課長兼建設課長、北沢健康福祉課長、掛川武石教育事務所長、 滝沢武石上下水道課長、佐藤地域政策係長
6	公開・非公開等の別	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7	傍聴者	1人 記者 1人
8	会議概要作成年月日	平成24年7月30日
	作成部局課名	地域振興課地域政策係

協議事項等

- 1 開会（柳沢副会長）
- 2 会長あいさつ（上野会長）

長野県も梅雨明けした。暑くなるが体に気を付けてそれぞれの立場でご活躍いただきたい。先日、上田市の議会の一般質問で武石のことについても出された。公園化構想、自治センターの老朽化、雲溪荘についても出た。今日はまた議題の中で、思っていることを言っていたきたい。
- 3 協議事項
 - (1) 雲溪荘について

【雲溪荘の地域貢献度、利用者の推移や指定管理料など事務局から説明】

【質疑・意見等】

(委員) 先日、上田市地域振興事業団の理事長の講演で、雲溪荘は廃止の方向というわけではなくて、住民自らが必要であると判断すれば自分たちで予算を立てたり、自分たちで動いていくべきだという話をされた。これを聞いて本当に良かったと思った。もう一つ、雲溪荘の近況報告について、自分は週2～3度雲溪荘に通っているが、雲溪荘もやる気が出てきて、昼食ランチ、入浴料付きで「イキイキ健康体操」のイベントを始めた。評判も良く、また次回も参加したいとの意見も聞かれた。現場の人たちも頑張っており、あいさつもよくなり顔つきもかわってきた。

(委員) 自分の周りの人たちも少しずつ意見が変わってきた。最近では、武石で唯一の温泉宿泊施設を残したいという雰囲気になってきた。住民説明会の参加者は少なかったが、お知らせや口コミなどで住民に（存続させたいという気持ち）が伝わっていると思う。

～「雲溪荘のあり方に関する検討について」事務局から説明後～

(会長) (これまでの論議の)他に意見があったら出していただきたい。

(委員) 概算費用を見ると営業担当職員1名の費用はこら辺の相場から見れば高い。それから、持ち寄り基金でオフトークに4千万円が計上されているが、以前、持ち寄り基金では1人1人にかかる費用については使えないと聞いたが使えるのか。

(事務局) 人件費については1人の雇用経費として600万と考えている。オフトークについては、個人負担をお願いしたいと考えていて、若干の補助をおこなう予定。機材にかかる費用を概算で見込んだ。オフトークについては決定ではなく、アンケートを基に市ではまだ検討している段階であり、この資料には一応載せた。

(委員) 上田市のホームページを見ていたところ、改革プラン（第二次上田市行財政改革大綱・アクションプログラム）のようなものが載っている。雲溪荘もそれにならってプランを立ててやったほうがいいと思う。また、丸子の鹿月荘との違いが分からない。鹿月荘の資料があれば比べてみたい。

- (委員) 「検討資料」にある土砂防災防止法に基づく特別警戒区域指定について、防護壁など設置となれば費用は市で見るのか。
- (事務局) 建物がなければ必要ない。改修するとなればやらなければならない。
- (委員) 防護施設は雲溪荘があってもなくても作らなければならないのでないか。別荘地もあるが。
- (事務局) 雲溪荘という施設を持っている人に対する義務。この施設を改修するとしたら、施設を持っている人がやらなければならない。
- (委員) 「資料2」の雲溪荘利用者の推移について、平成23年度に半分になったとのことだが、平成23年6月までと今年の6月までの数字は比較できないか。また、練馬区の利用が大きく減っているのはなぜか。
- (事務局) 本年との利用者数の比較については、今日用意していないが次回用意する。練馬区については、地元バス会社の利用により日帰りで帰ってしまうなど宿泊者の確保ができない時期や、震災の影響で一時的にお客が減った時期があった。
- (委員) 「検討資料」について、雲溪荘のあり方についてこれだけ詳しく議論しておいて、平成23年度にどうしてまとめられなかったのか分からない。それぞれの意見について、ちゃんと出ているのではないか。
- (会長) 昨年の状況では、委員として荷が重いという思いや、意見を言い足りないということもあり、そこまで至らなかった。今年は意見をまとめて集約しなければならないと思っている。協議会の意見は地域住民に重要視されている。
- (委員) 昨年の協議会では、ある程度意見を出したうえで住民説明会において判断してもらおう、という話ではなかったか。
- (会長) 最終的な判断は住民に決めてもらうが、協議会としての意見をまとめよう、ということだ。
- (委員) 雲溪荘をやめるのはわけがない。住民が望んで作った施設なのだから、そのことももっと尊重してもらいたい。もっと検討しなければならないのに、ただ賛成・反対多数決なんてやっても結論はでないと思う。指定管理制度を続けて、財政の健全化を目指せばいいのではないか。
- (会長) 雲溪荘をなくしたくない気持ちは誰にでもあると思う。でも赤字でも続けてもらいたい、という訳にはいかない。やるからにはこういう形を取りますよ、というものが無いといけない。あと、基金を使ってでも修理をして残したい、という気構えがないと成り立たない。そういう気持ちで皆さんの意見をお聞きしたい。
- (委員) 「資料2」の雲溪荘利用者の推移について、年齢層が分からないか。自分は正直、住民説明会になどまったく興味がなかった。ここに出るようになって知った。年齢によって取り組みたい世代等異なると思う。若い人は住民説明会にも来ないと思う。
- (事務局) 年齢まで把握していない。
「資料3」雲溪荘は年間約8千400人の人が利用している。指定管理料を考えると市は住民福祉の面から、市内の皆様の利用を考えていただきたい。
- (委員) 私たちが多数決をして、もし雲溪荘を残したいという結論になって市に持って行ったとして、赤字を抱えているので市長はだめというのではないか。雲溪荘もいろいろな試みを始めて、現場も本気になることが大切。ようやく意識が高まってきたところなので、9月に結論を出すという期限についてもう少し待っていただけないか。
- (事務局) 9月というのはこちらで考えたこと。平成26年度からの指定管理者の募集は来年4月以降だが、存続するとしたら修繕等組み立てがかわるので、予算編成等のスケジュールを考えると9月位までには方向性を出したい。
- (会長) 9月までとしたのは、協議会で方向性を決めた後、住民にも図りたいから、というのもある。9月というのは忙しいので、臨時の協議会開催も考えている。
- (会長) 「検討資料」について、持ち寄り基金すべてで賄うのか。あと、赤字の補填などに公費を使わないことが確定しているのか。また、もし存続した場合、積極的費用が予定以上の額になったときの費用はどうするのか。
- (センター長) まだ考え方も定まっていない段階での資料である。問題なのは宿泊施設であること。なぜ宿泊施設を行政が行うのか、ということ。鹿月荘は採算が合っているので良いが、雲溪荘は他の事業等合わせた中で採算を合わせている。武石として、本当に宿泊施設が必要なのか。持ち寄り基金を使うかどうかについては、この方法しかない、という訳ではない。ただ、これくらいの気構えが必要ということだ。
- (委員) 武石地域も将来的には少子化になる。もしお金があれば未来に託したい。子どもたちのために使ってほしい。雲溪荘に使うとしても大事に使いたい。源泉は流しっぱなしでもいいと

思う。

(委員) 雲溪荘問題も9月までで一区切りにすべき。他の協議もあるので一旦はしめないといけな
いと思う。

(委員) 基金についても公表して行くということで良いか。

(センター長) 住民には、「こうしたい」という方向で説明したい。

(会長) その他に意見などありますか。

次回は存続するならばどうすればよいか、という話まで出していただきたい。まとめるよ
う努力したい。

4 その他

(1) 長野大学社会調査アンケートの実施について

【長野大学から説明】

【質疑・意見等】

(委員) 自分は、花咲か爺さんクラブの一員だが、どういう風に聞き取りを行う予定か。

(大学) 時間と場所を決めて、事前にこちらで質問を決めてお知らせする。

(委員) これから、行政と住民がどうやって手を取り合ってやっていくのか模索する中で、中立な
立場から入っていただけることがありがたい。よろしくをお願いします。

(2) 武石夏祭り（8月12日～15日）について

【事務局から説明】

【質疑・意見等】

(委員) どうして雲溪荘の問題がこれだけ出ているのに、夏祭りに出てこないのか。今後は割引券
を出すとか何か工夫をされたい。

(3) ともしびの里駅伝大会について

【事務局から説明】

【質疑・意見等】

・なし

(4) 次回会議の日程等について

・協議の結果、8月22日水曜日、午後7時から9時と決定する。

(5) その他

(事務局) 依田窪福祉会の理事兼評議委員として、武石地域協議会委員の皆さんの中から一人の選
出を願っている。

(会長) どなたか出ていただける方はいますか。

(委員) 会長にお願いしたい。

(会長) 了承。

(会長) その他に何かありますか。

(委員) 持寄り基金で子どもたちのために学校へエアコンを入れていただきたい。先日、このとこ
ろの暑さで具合が悪くなった子どもがいた。学力と体力面の向上を図る上で、学校の予算が
取れなければ基金でお願いしたい。

(事務局) 学校側から直接、学校教育課へ話をしてみるようお願いしたい。但し、上田市内の学校
でエアコンなどの冷房施設の整った小中学校はない。

5 閉 会（柳沢副会長）